



微笑

第66号
 令和5年10月15日
 発行者
 綾瀬市身体障害者
 福祉協会

「車いす部会の食事会」

坂本 道子

八月十九日に綾瀬市の「Boulangerie et vin Kaze (ブーランジェリーエヴァンカゼ)」というお店で、車いす部会の食事会を行いました。

このお店(焼きたてのパンやサンドイッチ、持ち帰り用の西洋風惣菜を売る飲食店)は、ビバホーム近くにある幾つかのクリニックが集まった医療モールの一階にあります。建物に入つてすぐ右手に入口があるので、扉を入ると焼き立てパンの香りがふわっと漂ってきます。医療モールの中にパン屋さんが現れてびっくりする人もいます。



【ブーランジェリーエヴァンカゼ】

綾瀬市深谷中1・6・35

電話番号・0467/38/5357

定休日：日曜日

パン

パンを販売している奥には、太陽光がたくさん入ってきて明るい雰囲気のある十五人程度が利用できる飲食スペースになっています。今回の食事会は、個々にランチの「牛肉の赤ワイン煮」「鯛のアクアパッツァ」「煮込みハンバーグ」等々のパンの食べ放題セットを注文して、料理の美味しさは勿論のこと、焼きたてのパンをお腹が一杯になるほど味わいました。店員さんともとても、車いすの利用に対してとても丁寧に対応して下さり、とても楽しい食事会を過ごすことができました。

ランチだけでなく、モーニングやデイナリーの営業もされているので、皆さんも是非一度、美味しい焼きたてのパンを味わいに行ってみては如何でしょうか？



【日帰りバス旅行】

(千葉方面お買い物ツアー) 宮島 永子

九月二十九日に身障協会のバス旅行が行われました。今回は、「千葉方面お買い物ツアー」ということで、「海ほたる」「道の駅 木更津うまたくの里」「三井アウトレットパーク 木更津」などへ行つて、千葉の味覚やショッピングを楽しんできました。集合場所の綾瀬市役所に到着すると、既に神奈川県のリフト付きの大型バス(ともしび号)が待っていてくれました。参加する皆さんも集合時間に遅れることなく、定刻通りに市役所を出発して千葉方面に向かいました。



最初の訪問地「海ほたる」では、見渡す限りの美しい海と空に感動しました。特に展望台からの景色は絶景でした。ここでは参加者の皆さんと一緒に海をバックに記念写真を撮りました。「海ほたる」内にはショッピングモールやレストラン、カフェが充実していて、地元の特産品やお土産を購入することができて、海風を感じながら楽しい時間を過ごしました。

次に向かった「道の駅 木更津うまたくの里」の入り口では、大きな落花生のオブジェが迎えてくれました。ここでは新鮮な地元の特産品が豊富に販売されていました。特に海産物が充実していて、新鮮な魚介類や海産加工品を試食することもできました。地元の味を堪能することができ、お土産を買うのにも最適でした。



最後に「三井アウトレットパーク 木更津」では、少し遅めの昼食とショッピングを個々に満喫しました。まず、アウトレットパークの広大な敷地に圧倒されました。様々なブランドのショッピングが並び、ファッション、アクセサリー、スポーツ用品、家庭用品など、幅広い商品が揃っていました。ここでは様々なレストランやカフェから好きなものを選んで、食事や休憩ができるスポットも豊富にありました。私たちもお腹もだいぶ空いてきたので、「函館グルメ回転ずし函

太郎」という函館の海の幸をリーズナブルに楽しめる回転寿司店で、昼食をとることにしました。なんで千葉まで来て、函館の海の幸か？と聞かれると笑ってしまいますが、店内は明るく開放的な雰囲気です。ゆったりと食事を楽しむことができました。



皆さん、ショッピングや食事などを満喫されて、「三井アウトレットパーク木更津」を後にしましたが、心配された帰りの道路渋滞もなく、予定通りに綾瀬市役所に戻ってこられて、とても幸せな気分です。帰路に帰ることができました。充実した楽しい一日を過ごせて、素晴らしい思い出ができた今回のバス旅行でした。

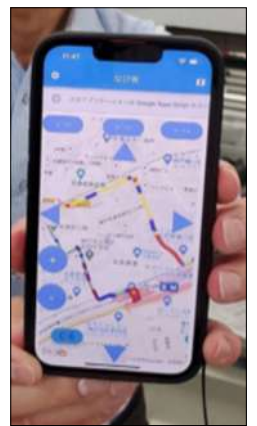


◎この坂道は車椅子でも安全？ 判定アプリ試作版 神戸の研究所が開発

毎日新聞 九月十三日

車椅子をこぐ力に応じて安全に通ることができる坂道かどうか判定する地図アプリ「なび坂」の試作版を兵庫県立福祉のまちづくり研究所（神戸市）などが開発した。陳隆明所長は「あらかじめ坂道の状況が把握できるため目的地に行きやすくなる。ユニバーサルツーリズム（年齢や障害の有無に関わらず誰もが楽しめる旅行）の推進に役立つ」と話す。

研究所とロボットアプリ開発などを手掛ける「DOWELL」（同市）が共同開発した。Googleマップを活用している。頸髄（けいずい）損傷のレベルなどに応じて車椅子をこぐ力を選択して出発地と目的地を入力すると、坂道の勾配によって、青色の通行可▽黄色の通行困難▽赤色の通行不可―でルートが表示される。こぐ力は利用者の体力などに応じて調整でき、電動車椅子の利用者や歩行困難者なども使える。手に障害があっても操作しやすい仕様だ。研究所の特許技術を活用しており、同種のアプリは他にないといわれる。陳所長は「坂道に着目した高齢者向け健康増進アプリの開発を10年前に進めたが頓挫した。新型コロナウィルス禍で高齢者の引きこもりが問題となり、開発を再開した」と説明する。



スマートフォンに表示された地図アプリ「なび坂」の画面
試作版は米アップルのiOS版で関係者の試験的な利用にとどまる。坂の少ない道を案内したり、段差や階段を表示したりはできない。9月下旬の福祉用具展示会で発表するなどし、事業化に向けて企業などの協力を呼び掛けるという。

◎警報音を振動に、 聴覚障害者に「知らせる君」 相模原の企業開発

毎日新聞九月十七日

相模原市緑区のベンチャー企業「ロイヤル（ロンク）」が、火災報知機などが鳴ったことを振動と文字で聴覚障害者に知らせる腕時計型の機器を開発した。あらかじめ警報音などを学習させておく仕組みで、名付けて「知らせる君」だ。

知らせる君は、腕時計型受信機と「音感センサー」からなり、6万1000円。火災報知機の警報や既設ドアホンなどの音を、「音感センサー」にあらかじめ学習させる。学習した音が鳴るとセンサーが感知して受信機に送信

し、受信機が振動し警告メッセージを表示するので、腕に付けている聴覚障害者が気付くことができる。

Roie代表取締役の高山建さん（59）は中国・上海生まれで1991年に来日。大手メーカー4社に勤務し、日本国籍を2000年に取得。06年に創業した。知らせる君は開発に2年かけて23年5月に発売した。

9月には、相模原市内の中小企業の優れた新製品を同市が認定する23年度の「トライアル発注認定制度」に認定された。市は認定製品について、ホームページでの紹介や展示会への出展、販路開拓などを支援する。

高山さんは「赤ちゃんの泣き声を（聴覚障害がある）お母さんに知らせることもできます。災害発生の際に耳の不自由な方や（難聴の）高齢者が逃げ遅れて命を落とすことのないようにとの思いで開発しました」と話している。問い合わせは同社 ☎042・770・9858



皆さんへのお知らせ

- 十一月十一日（土）
福祉レクリエーション大会
& ボラ連との交流会
於「Timuragasuスポーツ会館」
- 十二月十七日（日）
神奈川県障害者福祉大会
於「相模原市市民会館ホール」

◎他にも皆さんが参加できる行事もあるので御参加下さい！